

第 76 回番組審議会議事録

◆開催日時 2015年6月16日(火) 12:00~13:30

◆開催場所 (株)キャッチネットワーク 特別応接室

◆出席者

<委員>

碧南市: 小串 久美子委員、加藤 勝徳委員 刈谷市: 鈴木 秋子委員、山田 悠貴委員
安城市: 高橋伸弥委員長 北村 新子委員 知立市: 鈴木茂子副委員長、小橋 和昭委員
欠席: 花見政子委員(高浜)、加藤 意敏委員(高浜)

<エフエムキャッチ>

取締役専務 松永光司、取締役 倉地 陽一、アドバイザー 小森 浩司、
松本勉稔、勅使河原 正直

<議事内容>

1. 近況報告

6月15日に開催された「第13期株主総会」で使用した事業報告書を元に、「会社の現況に関する事項」「対処すべき課題」についてご説明し、当社の現況についてご理解いただいた。

2. 議題1 番組審議

「Pitch HAPPY市場」についての意見交換

<局より委員へ>

コンセプトは、平日の昼下がり「何気ない日常」を、軽快な音楽とトークでタイトル通り HAPPY にさせます。内容は、新旧問わず強調しすぎない音楽で、生活のお洒落な BGM を演出。楽曲の情報は少なめに、ランチ情報、街角リポート、レシピ、グルメの紹介、行政からのお知らせなど生活に密着した情報を中心にお届けします。ターゲット世代は、30代前半~50代 主婦、車中の会社員。ご審議よろしく願いいたします。

<委員からの意見>

- ・ 情報がメインだが、思ったより曲が少なかった感じがある。
- ・ パーソナリティ(長尾)の声が良いので全体的に飽きさせないが、曲がもう少し欲しい。
- ・ リポートも旬な話題で行ってみたいと思った。
- ・ 晩御飯のレシピを紹介していたが、実際に作ってみた様子を話していた感じがしたのでわかりやすかった。
- ・ パーソナリティによって番組の作り方が違うと感じた。音楽のジャンルも違うと感じた。
- ・ 曜日によってばらつきはあるが、個人的には木曜日が楽しかった。
- ・ リポートは、もっと市民の声が聴けるといいのではと感じた。
- ・ トークが多すぎる感じがした。曲をもう少し多めに流してくれると良い。
- ・ 天気情報は概況のあとエリアの情報を流しているが、エリアだけで良いのではないかと思う。
- ・ 番組コンセプトの11時~1時は主婦が聴くのかなと思う。お昼の支度をしながら聞けない。また、食事中はラジオやテレビを流さない。食事が終わると番組も終わっている。
- ・ 女性パーソナリティの方が聴きやすい。
- ・ とても聴きやすかったし、曲も良かった。また、リポートで行きたい場所の情報があつた。個人

的にはトークが多く良かった。

- ・ トークのネタを主婦にもっと絞り込むと良いのでは。例えば韓流などのネタなど。
- ・ 中学校の放送部と連携して生放送しても面白いのではと思う。子どもからその親に繋がりピッチエフエムの認知が上がっていくのではないか。
- ・ 庶民的な材料を使っのレシピはとても参考になった。特に梅ジュースの作り方は分かりやすく良かった。

<局から>

今日の審議では、本番組の理解はいただけたと思います。今後、更に番組品質向上に努めてまいります。

3. 議題2 その他について

- ・ 市役所での公開生放送について、放送はしているけど、そこに行っている趣旨がわからない。PRするとかがあればいいのだが、ただ放送しているだけだと寂しい。PRの方法を考えると良いのではないか。
⇒PRの方法を検討します。
- ・ SNSを使ってという話があったが、議会の中継はできないのか。選挙に行かない人、選挙に興味のない人など、議会に対して関心をもってもらうために、一つの試みでできないでしょうか。ラジオは難しいと思うのですが。
⇒NHK など SNS を使って放送をしているが、数十人のフィルターを掛けて放送している。その体制を整えるのは難しい。放送は受け手が意志がなくても受け取れるが、通信は意志がないと見られない。悩みながら研究をしています。
- ・ 自治体主催の防災訓練は具体的にしているがどうやっているのか。
⇒ピッチ FM とキャッチ TV で会場まで中継車で行き、緊急時の模擬放送をしたり、災害・防災のチラシを配っている。また、局の中でも模擬放送をしている。アマチュア無線なども使って訓練している。ラジオも、テレビも実際の放送はされていません。
- ・ 9月は防災月間なので、何か取り上げる予定はありますか。
⇒特別番組もありますが、生放送の中でも防災について内容としては多くなってくる。パーソナリティのフリートークで取り上げられています。
- ・ 防災ラジオを購入したが、「防災についてはピッチを聴けばいい」ということに気づいた。もっとPRをしたらいいと思う。

⇒コミュニティFMは災害が起きてからニーズが高まる。発災のあとに役立つには、普段からの取り組みがあって非常時に備えます。啓発はしているが、なかなか認知してもらえないのが現状。限られた資源の中で更なるPR策を打ち、認知拡大に努めます。

安城市で大規模な停電があったが、停電情報はテレビでは流せないの、ラジオで素早く放送できるかを検討している。

事務局から

次回日程 2015年8月18日(火) 12:00~13:30

意見交換番組:「ぴっちスクエア」

以上の議事を進行し、委員長よりエフエムキャッチに対し、「今後も本日の意見を参考にして、より良い番組作りを進めてください。」とのことばをいただき閉会しました。

以上